

令和8年度入学式



写真左は、入学生宣誓をする平野華紅さん（看護学科）。同右は、初の熊本城ホールでの開催となった令和8年度入学式



志高く454人仲間入り

令和8（2026）年度の入学式が2日（木）、熊本市中央区の熊本城ホールであり、学部、大学院、専攻科などに合わせて454人が入学しました。

昨年度までの市民会館シアーズホーム夢ホールから会場を移しての開催となりました。竹屋元裕理事長・学長が学部学科、大学院、専攻科ごとに入学許可宣言。引き続き式辞に立ち、「本学への第一歩は、自らの人生に責任を持ち、社会に貢献する医療専門職として歩むことを選んだ決意の表れ」と述べました。また、大学を「人生の設計図を描く場」とし、「それぞれの個性を生かしつつ、皆さん独自の設計図を完成させてほしい」と語り掛けました。

熊本県看護協会の本尚美会長の来賓あいさつ

に続き、新入生を代表して平野華紅さん（看護学科）が「この入学の感激を忘れることなく、熊本保健科学大学の学生としての誇りを持ち、実りある学生生活を送ることを誓います」と力強く宣誓しました。（NL編集部）

◇ ◇

令和8年度の入学者内訳は次の通り。

医学検査学科114人、看護学科108人、リハビリテーション学科157人（理学療法学専攻68人、作業療法学専攻45人、言語聴覚学専攻44人）、大学院保健科学研究科15人、公衆衛生看護学専攻20人、助産別科20人、キャリア教育センター20人（認定看護師教育課程脳卒中看護分野9人、同認知症看護分野9人、特定行為研修課程2人）

理学療法士 4年連続100%達成

国家試験 作業療法士、保健師、助産師も全員合格

国家試験の合格者が3月下旬、相次いで発表されました。本学関係では、理学療法士で今春卒業した57人全員が合格し、4年連続で合格率100%を達成しました。また、作業療法士、保健師、助産師も本

学は新卒受検者全員が合格しました。また、臨床検査技師、看護師、言語聴覚士の各試験でも全国平均を大きく上回る合格率を残しました。（NL編集部）

2025年度国家試験合格状況（本学関係分）			
	2025年度合格率（全国平均）	本学合格者数/受検者数	前年度合格率（全国平均）
臨床検査技師	98.1%(84.7%)	102人/104人	95.2% (84.6%)
看護師	98.3%(88.3%)	115人/117人	99.0% (90.1%)
理学療法士	100%(89.7%)	57人/57人	100% (89.6%)
作業療法士	100%(91.2%)	39人/39人	97.1% (85.8%)
言語聴覚士	96.0%(66.4%)	24人/25人	97.4% (72.9%)
保健師	100%(87.1%)	20人/20人	100% (94.0%)
助産師	100%(99.7%)	21人/21人	100% (98.9%)

「春期」最多261人 実習体験や進学相談 オープンキャンパス

希望する学科の学生に、大学生活や学修の内容などを聞く高校生たち



50周年記念館での全体オリエンテーションも盛況でした



春のオープンキャンパスが3月22日（日）開催され、春期としては過去最多の261人が参加し、学内見学ツアーや各種相談、模擬実習などに臨みました。

春期のオープンキャンパス開催は今回で6回目となります。参加者のこれまでの最多は令和6（2024）年3月の211人で、今回は50人上回りました。

50周年記念館での全体オリエンテーション、学科紹介があり、1～3号館では学科・専攻の特性や魅力を集めた模擬実習コーナーが開設されました。並行してピア・サポーター学生による「先輩と話してみよう」コーナーや、進学、奨学金などの相談コーナー、国際交流ブースなども設けられ、参加者はお目当ての学科・専攻で各種測定や実習を体験したり、進学にまつわる説明を受けたりしていました。

看護師を目指しているという天草市の高校2年生は昨年夏以来2度目のオープンキャンパス。「今回はより細かいところを見ることができました」と満足そうに話してくれました。長崎市から両親と来学した生徒（高2）は「スポーツトレーナーの資格を取れるのが魅力。静かな環境で勉強できそうでいいなと思いました」と初めて訪れた本学の印象を口にしていました。（NL編集部）

「認定看護師」23人に修了証書

キャリア教育研修センター

令和7（2025）年度キャリア教育研修センター修了式が3月19日（木）、1204会議室で開催され、認定看護師教育課程を終えた23人が修了証書を手に入れました。

修了生の内訳は、脳卒中看護分野8人、認知症看護分野11人、特定行為研修課程4人。式典では、キャリア教育研修センターの川口辰哉センター長が全員に修了証書を授与し、祝辞を述べました。

この中で川口センター長は1年間を振り返り「前半は働きながら380時間のeラーニング、後半は対面授業と臨地実習で大変だったと思う。皆さんの努力と頑張り心から敬意を表したい」と話し、「本学で出会った皆さんとの一期一会を大切に、これからも旧交を温め未来を切り開いてほしい。困ったことがあってもなくても近くにきた際には本学に立ち寄ってください」と締めました。

熊本県看護協会の本尚美会長の来賓祝辞に続く修了生代表挨拶では、川村志乃さん（認知症看護

分野）が「共に学び支え合った仲間存在は大きい。ここでの出会いと学びを力に変えてそれぞれの道を歩んでいきたい」と決意を口にしました。

（NL編集部）



川口センター長（右）から修了証書を受け取る認定看護師教育課程の修了生



花束を手に竹屋理事長・学長（右から4人目）と記念撮影する退職する皆さん

花束贈り労をねぎらう 退職者送別の会

「退職者送別の会」が3月19日（木）、3105ゼミ室で開催されました。

冒頭、竹屋元裕理事長・学長が出席した5人を紹介し、「本学に尽くしていただきありがとうございました。今後はそれぞれの道でご活躍していただきたい」と感謝の言葉を述べました。

その後、用意されたケーキとコーヒーを楽しみながら、退職者一人一人が本学での思い出や感謝の思いを語りました。会場は終始温かい雰囲気に入れ、最後には全員での記念撮影も行いました。（NL編集部）

第7回西里校区健康ウォーキングが3月1日（日）、本学アリーナを発着点として開催されました。暖かな気候に恵まれ絶好のウォーキング日和となった中、地域の人たち約140人が心地よい汗を流しました。

コースは「がんばるコース」（本学アリーナ～西浦荒神社総社宮の往復約4.5㎞）と「のんびりコース」（本学アリーナ～フードパルとれたて市前の往復2.0㎞）の2つに分かれ、それぞれのペースでウォーキングを楽しみました。

開会式では家族で参加した竹屋元裕理事長・学長が来賓挨拶に立ち、参加者の士気を高めました。ウォーキングの前後には、看護学科生19人が参加者の血圧測定を行い、地域の人たちと触れ合いました。また、リハビリテーション学科作業療法学専攻の宮田浩紀講師による準備体操も行われました。

コース途中では周辺地域にまつわるクイズ、ウォーキング後は賞品抽選会も実施され、幅広い世代の人たちが春の一日を満喫していました。（総務課）

陽光浴びて 歩け歩け！



西里校区健康ウォーキング



写真上は、大学横の井川沿いを通ってウォーキングへ出発する参加者。同下は、参加者の血圧を測定する看護学科の学生たち



授業の魅力的なアップデートを

令和7年度第2回FDセミナー

令和7年度第2回FDセミナーが3月9日（月）、1501講義室Mで開かれました。

冒頭、令和8年度入試結果について、久保田憲寿入試・広報課長より報告。その後、「魅力的な大学へ向けた授業改善」について、ベネッセiキャリア事業部長兼まなぶとはたらくをつなぐ研究所長の岡安亮氏が講演しました。

岡安氏は、高校における「進路指導」「教科指導」「生活指導」の変化を説明。教育・授業を通して「何ができるようになるか」が高校・大学を通じたキーワードであると話し、学生の実態を正確にとらえたうえでの募集広報、授業の魅力的なアップデートが重要だと強調しました。（NL編集部）



ヒストリー

人生のフェーズ3へ

人生には、いくつかのフェーズがあるのかもしれませんが。私にとって、結婚前がフェーズ1、子育て期がフェーズ2。そのフェーズ2が、今年の3月で一区切りを迎えました。

振り返れば、長い時間を子育てとともに過ごしてきました。そんな自分に「お疲れさま」とそっと声をかけると同時に、言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちが周りの方々へと湧いてきました。

「子育て」といっても、私たち夫婦だけで育ててきたわけではありません。親戚、病院の先生、保育園や学校の先生、部活の仲間、保護者の方々、友人、サークルの先輩、アルバイト先の方々など、本当に多くの人に支えられてきました。

一人暮らしの準備を進め、社会へ旅立つ姿を見送るのは少し寂しいものです。それでも子どもの門出を見守るのも、親の役目なのかもしれません。

こうして私の人生はフェーズ3へ。子離れをしながら、自分自身の人生を改めて見つめ直し、「今できること」を一つずつ積み重ねていきたいと思っています。



家族で祝ってきたママの誕生日

看護学科 磯野さよ子助教

行事予定（4月7日～4月20日）	
4/9（木）	前期授業開始
4/10（金）	杏友会歓送迎会
4/15（水）	学術講演会（シンポジウム）
4/18（土）	保護者会（学部4年）

※「NEWSLETTER」は4月から月2回の配信となります。次号326号は4月20日（月）に配信します。